

プロジェクト名：モーリタニア国オアシス地域の女性支援のための開発調査

(調査期間：2005年9月～6.0ヵ月、担当業務：オアシス農業)

調査背景

モーリタニア国において我が国は、タガント・アドラル2州を対象に、安定した生計確立の体制を住民自身が構築することを目的とした「オアシス地域開発計画調査」(2001年4月～2004年9月)を実施し、実証調査対象の6つの拠点オアシスにおいて、オアシス管理組合を中心とする住民主体の地域開発の可能性が確認された。その後、住民主体の持続的な地域開発事業を、他のオアシスや遠隔地に位置しているさらに貧困の深刻な小規模オアシスにも拡大していくためには、関連機関の人材育成や能力向上による普及体制の強化が不可欠であり、さらに、オアシス地域においては、「モ」国政府の女性に対する支援が行き届き難い状況にあり、貧困の緩和に向けては、ジェンダーに配慮した地域開発の計画立案および事業の実施が必要であることが確認された。この観点からジェンダーに配慮した地域開発とその普及拡大(小規模・遠隔地オアシスを含む)を可能とするアクションプランの策定、ならびに実施機関である女性地位向上庁のキャパシティビルディングの実施を要請してきた。

調査概要

本調査の目的は、ジェンダーに配慮したオアシス住民の生活改善・貧困緩和のための地域開発の方策を明らかにする、女性地位向上庁及びその他関連機関の人的・組織的能力が向上するとした。「オアシス地域開発計画調査」に引き続き、当該国2州を対象に、ジェンダーを配慮した野菜栽培、養鶏の実証・技術移転、保健衛生やオアシス生活分野での改善事業などを実施し、アクションプランの策定を行った。

担当事項

- オアシス灌漑農地における水資源の有効利用を図った栽培、生産向上のための計画立案。
- オアシス地域での水資源の有効利用による野菜栽培パイロットプロジェクト、及び技術移転の実施。
- 農畜連携による地域資源の有効利用による栽培技術マニュアルの作成。
- 農業・資源利用関連のアクションプランの策定。

